進捗報告・年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　　2022　年　10　月　　26　日
● 事　業　名　：　矢田地域安心安全のまちづくり～居場所と生きがい創造事業
● 資金分配団体　：　一般社団法人　大阪府地域支援人権金融公社
● 実 行 団 体　：　NPO 人権尊重の矢田まちづくり委員会

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
居場所改修ワークショップの開催	①ワークショップの開催数 参加者数	1 回／月 参加人数 5 人/1 回	2020 年度中	2020 年度中に 6 回 のべ 43 人参加	2
寄付された私邸を改修整備して居場所として活用できるようになり、人が集まる	参加人数	参加人数 20 人/1 ヶ月	2022 年度中	参加人数 35/週 1	1
高齢者の困りごと、望ましい居場所・相談の在り方を知る	地域住民への聞き取り数	10 人	2020 年度中	随時、延べ 30 人	3
地域関係団体間で連携して、新たな居場所での相談事業が始められる	相談員の派遣	相談会開催　1 回/週	2021 年度中	居場所での相談が実施できない時期は電話にて時間を区切らず受付	4
矢田の歴史、ライフヒストリーを知る	地域住民への聞き取り数	10 人	2021 年度中	2021 年度中 5 人×2 回実施	2

矢田の生活文化の復活のためのアイデアや「昔取った杵柄」人材が掘り出されている	生活文化アイデア事業の実施	新規活動	2021 年度中	取り組めていない	4
新型コロナウィルス感染拡大に対応しつつ、活動が実施できる体制づくり	ネット環境の整備、感染予防対策によって実施可能となった取り組み	新規活動	2021 年度中	ネット環境の整備 感染予防対策設備	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
2022 年 3 月から毎週金曜日の昼に《ふれあい食堂》を開催。「食」というイベントを通じて，住民や矢田地域で働く人が出会う場所を設けるべく毎回約 30～40 人分の食事を準備。毎週金曜日に定例開催し事業の柱となっている取り組みである。開店の 12 時前にもなると，地域住民だけでなく社会福祉法人や診療所等の近隣施設関係者や大阪公立大学の学生など多くの人が訪れ、食卓を囲む。献立には、その時々の旬の食材も取り入れるように心掛けていて、節句などの行事を献立に反映させている。「食べるという行為を通じて、晴れや褻、季節を感じてほしい。『今年ももうそんな時期か』とか、『懐かしい感じがする』とか、『こんな味がするのか』とか食べ物を目にして、においを感じてもらい、そうしたことが生きる喜びや、他者との会話のきっかけに少しでも貢献してくれていたら」とシェフ（この休眠口座活用事業が縁で働くことになったスタッフ）の思いがある。ふれあい食堂によって地域住民の居場所と出番づくりが芽生えつつある。参加した地域

住民高齢者が「手持ち無沙汰は性に合わない」と開店前に庭先や古民家の掃除を率先する、また「料理を教えてもらいに」という名目で台所に入って調理手伝いをしてくれる住民も。古民家での居場所づくりは着実に認知がひろがりつつあり、地域住民や矢田で働く人たちの出会いや相互理解が生まれ、彼らの経験や特技を生かせる場面や舞台が登場しつつある。今後まちづくりのワークショップなど、他の企画を通して、矢田をどのような地域にしたいのかという共通認識をさらに深めていき、住民一人一人が安心安全に生活し、また活躍し、生きがいを感じる住民が増えるような働きかけを行っていきたい。

③　広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2.広報制作物等 当法人の機関誌 近隣事業体の広報誌に記事として掲載 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

添付資料

男性はスタッフ、他はボランティア

食事中の様子

季節や旬を意識した献立

テーブルが足りず縁側で。まだまだ手探り。